

建成順	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化						
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修の実施 民生委員・児童委員の	民生委員・児童委員活動 活動	地区民児協同士の交流事業の実施		
1	下関市	吉田					<p>萩市三見地区の民生委員・児童委員協議会を訪問し意見交換を行った。 実施日：令和元年9月20日（金）10:40～12:30 参加者：吉田地区8名、三見地区7名萩市の担当者1名（計16名） 協議内容：吉田地区は下関市の東の端、三島地区は萩市の西の端でもとも高齢化率の高い過疎地域であり同じ問題を抱えており活発に意見が出た。</p> <p>主な課題 ・福祉員との連携に関すること、三見地区は合同研修会を実施している。 ・両地区とも高齢者が多く隣家が遠く民生委員、福祉関係者の訪問が大変 ・吉田地区で実施しているお買い物サービス ・高齢者の足である電動車椅子の活用と問題について ・地区社協と連携した事業について 三見地区の「おてごの会」 ・民生委員の組織について 後継者の推薦課題 萩市民児協は会長会議が定例化できない。離島があり天候によりできない。</p>	<p>【成果】 満足できる成功と評価する。 【課題】 同じ県内の市町の対応について情報の取り扱いが違う等の問題もあり、単位民児協の充実化の必要を感じた。</p>	
2	下関市	王喜		○	○		<p>①救急救命処置講習 令和元年6月6日 民生委員10名 下関市東消防署署員指導による「救急救命処置講習」を（心肺蘇生・AED）実施し、適切に対応できるように取組んだ。 ②健全な児童育成支援 1 令和元年8月9日 民生委員・児童委員とその他の協力者27名 うどん作りと竹での器と箸づくり 2 令和元年8月23日 民生委員・児童委員とその他の協力者26名 パフェ作りと2学期のチャレンジ目標</p>	<p>【成果】 ・救急救命処置講習は、高齢者を始め日常人との関わりが多いことからも事案に遭遇した折には民児協委員自らも関わることができた。 ・夏休み期間中「児童とのふれあい活動」は児童、父兄からも大好評であることと、地域における民児協委員のPRに繋がった。 【課題】 ・救急救命処置講習は、「防災・減災の一項目」として3年計画で取組んできたが、地域住民の意識レベルを上げる労力は大変である。 ・健全な児童育成のふれあい取り組みは、施設面から参加募集人員に限りがあり、全ての参加希望者に応えることができない。（要検討する）</p>	

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修の実施 民生委員・児童委員の	動の推進に 民生委員・児童委員の 活動	地区民児協同士の 交流事業の実施	新規事業実施の促進		
3	下関市	勝山			○			事業名 企業訪問他 事業の目的 伊都・糸島でのまちづくりの貢献	【成果】 酒造り工場、しょうゆ工場での新しい取組、まちづくりに対しての意気込みを土地の方と話すことによって感じ取った。 委員相互にてこれからのまちづくりを考えてゆく原動となることを確信した。	
4	下関市	豊浦		○				豊浦地区で出生された方を対象とし、民生委員・児童委員が出生記念品を贈呈し、子育て等の相談に乗ります。対象乳児30名(紙おむつSサイズ)	豊浦管内で平成31年度に出生された方、30名に対して出生記念品を渡す際、子育て等の育児不安の相談や地域のコミュニケーションが図られた。	
5	下関市	北部第1		○	○			地区民児協の組織体制の強化と、各委員の資質向上のための研修及び児童の見守りを実施 1 包括支援センターの職員との懇談(話し合い) 2 小・中学校との連携の強化 3 児童の登下校の見守り 4 社会福祉介護施設などの見学及び研修 5 民生児童委員の資質向上のための研修	○毎月の定例会の時に、各地域包括支援センターの職員による事例や報告等を実施 ○北部第1地区民児協は、北部地区を中心に活動を行っているが、小学校4校(生野、向山、文関、養治)中学校2校(向洋、日新)が地域にある。主に生野小学校が中心となり民生児童委員も15名で一番多く、委員の約半数が携わっている。各校区の民生児童委員は、学校・自治会等と連絡を取り児童の交通事故や犯罪防止など下校時の見守り等をし、事故防止に努めている。 ○民生児童委員の資質向上の研修	
6	下関市	長府		○				・平成31年4月10日 出前講座(長府警察署)33名安全な見守りについて等 ・令和元年6月～令和2年3月 毎月1日に登校時立哨を実施33名ベストを着用して ・令和2年2月3日一日研修(宇部)iikotoメイトサロンの研修 30名(会の設立経過、月間の企画を説明してもらう) ・豊浦小学校 下校時見守り、プール見守りを実施 ・長府中学校 地域懇談会に出席	【成果】 ・立哨を通じて児童との交流が深まり、挨拶も自然と多くなった。 ・iikotoメイトの研修により、サロンの企画の参考になった。 【課題】 ・立哨は今後も続けていくために、更なる見守りの対応を考える必要がある。 ・サロンについては、多くの人が参加できる企画を考える。	
7	宇部市	藤山		○				市地域・保険福祉支援チーム、フロンティア大学及び藤山校区母子保健推進委員会と協力し子育てサロン「藤山乳幼児の集い」を開催。 1 「子どもの周りは危険がいっぱい」(フロンティア大学 安成先生講演) (AED・心肺蘇生法・避難所の説明 等) 日時: 令和元年7月19日(金)10:00～ 会場: 藤山ふれあいセンター 大ホール 参加者数: 親子10組(20名) 支援員10名 2 「楽しいミニ運動会」 日時: 令和元年10月18日(金)10:00～ 会場: 藤山ふれあいセンター 大ホール 参加者数: 親子26組(20名) 支援員10名	1 子どもを取り巻く危険要因を挙げ、データを基に認知を促した。身近な避難所等の告知や、後半では、人形を使い心肺蘇生法や誤飲・誤嚥の際の対処方法等を実施し、理解を深めた。 実際の場面で今回の研修の経験が活かされるよう、各自が意識を持ち反復練習に努めることが必要であると感じた。 2 幼稚園教諭2名の進行で、手遊びや親子体操等を行い、子どもの心身の育ちをサポートし、親子の触れ合い、また、他の親子との交流を深める事ができた。多くの親子に参加いただいたが、告知を工夫しより多くの参加者を募りたい。	

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修の実施 民生委員・児童委員の	動の推進に 民生委員・児童委員活動	地区民児協同士の 交流事業の実施	新規事業実施の促進		
8	宇部市	西宇部		○				○	<p>○民児協委員が中心となって立ち上げた、地域内初の子ども食堂を主体とする、地域住民が気軽に集える施設の運営を軌道に乗せるため、資金人支援を通年を通じて実施した。</p> <p>○支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係諸団体役員等と意見懇談会開催(4月12日(金)) PTA,子ども連絡会、自治会連、高齢協4団体、民児協(26名) ・施設案内用チラシの印刷、個別配布(2,000部、4月～5月) ・イベントチラシの印刷、関係箇所への配布(600部、3回) ・子どもをターゲットとしたイベント開催時の支援(3回) ・イベント応援者、協力者への茶菓子、イベント用具のリース代助成 ・施設利用のための用具の補充支援(ホワイトボード、ゲーム盤、絵) 	<p>【成果】</p> <p>地域各団体の協力もあり、次第に参加者も増加して月2回(土曜)の開催も順調に行えるようになった。また、フードバンク、近隣スーパー、地域農家の支援もでき、7月より子どもの食事無料化も実現した。当初の参加者目標には達しないが想定以上に推移している。</p> <p>【課題】</p> <p>イベント時と通常時との参加者の差が大きい。また、イベントが子ども中心のため、高齢者の参加に至っていない</p> <p>子ども食堂が「貧困」につながるイメージが一般住民に根強く、参加者父兄層の一部に不安感がある。又、イベント開催に援助の継続を要す。</p>
9	宇部市	厚南	○				○		<p>災害時の要配慮者への対応は、民生児童委員のみでできるものではなく、自治会・自治会連合会、地区福祉委員、自主防災会、近隣住民の協力なしで行えない。そうした横の連携に関する話し合い不足、どこが率先してやらなければならないかなどざっくばらんに話せる機会を作り、1つずつ積み重ねる事しかない。</p> <p>厚南校区民生委員児童委員、自治会役員、福祉委員、合同研修会</p> <p>2019年5月16日(木)18:30～</p> <p>上記会合に向け、自治会連合会役員、厚南会館館長を含め3回の調整会議実施</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会内に災害時に手助けが必要などのような人がいるのか ・その人の、災害時と平常時にどのような支援があると良いか ・その際に、自治会・民生児童委員としてどのようなことができるか ・実際にこれから自治会・民生児童委員で始められる取組み等の確認の共有ができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の会合だけでできるのではなく、継続した話し合い、情報共有が必要 ・個人情報絡むだけに、どこまでの情報開示ができるのか、本人の承諾は。 ・ともあれ、近隣の協力が大切であり、各自治会での組織作りが重要
10	宇部市	黒石					○		<p>高齢者の交通事故防止県民運動11/9～、年末年始の交通安全県民運動12/10～に向けて、一人暮らし高齢者や小学校低学年の家庭を訪問し、「児童を交通事故から守ろう」や「民生委員活動」のパンフを配布し活動をPRした。</p> <p>校区ふれあいまつり(10/20)で輪投げ・スタンプラリーのブースを民生委員が担当し、児童等に付き添ってきた父母等に対して、パンフ入りのポケットティッシュを配布し民生委員活動をPRした。</p>	<p>【成果】</p> <p>民生委員活動のパンフレット等を高齢者だけでなく、若い世代の人々に配布することで、地域の若い世代の人々とも幅広い関係づくりができた。</p> <p>【課題】</p> <p>地域として子どもたちを見守り育てるためには、若い世代の人々との関係づくりも必要で、このような活動が継続できるよう努めたい。</p>

建成順	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化						
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進	資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員の活動に関する調査	地区民児協同士の交流事業の実施		
11	宇部市	原		○				<p>○訪問日時：訪問宅の母親と、同伴する母子保健推進員とで日時調整をし合わせる。 ※コロナウイルス感染防止のため、3月は訪問活動を中止した。 ○訪問者：民生委員、母子保健推進員、市民センター保健師 ○訪問数：85世帯 ○訪問延べ人数：民生委員85名、母子推進員60名、保健師3名 ○実施内容：・赤ちゃん育児家庭を訪問し、誕生御祝い品(お尻拭きシート)を贈った。また、育児や生活・環境・心配ごと等を聴く事により、生活状況の確認を行った。(3か月児は、民生委員と母子保健推進員で訪問し、1歳児は民生委員のみで訪問した。) ・訪問時、子育て資料や民生委員のPRチラシを配布、また活動内容を説明した。 ・1歳児の訪問時は、お誕生カードにメッセージを書いて渡した。 ・心配事がある場合は、市民センターの保健師につなぎ支援活動を行った。</p>	<p>【成果】 ・お祝い品やお誕生カードのプレゼントは大変喜ばれ、和やかに話をすることができ、育児のことやこれからの仕事、生活状況等について聴く事ができた。 ・民生委員の活動について理解してもらえることができ、また心配事や相談がある場合は、民生委員や関係機関の支援体制があることも理解してもらった。 ・訪問することで、生活環境や虐待、ネグレクト等について確認する機会が得られる。 【課題】 ・若い母親は民生委員の存在や、活動内容について知らない人が多く、民生委員のPRや地域での活動等について周知を図る必要がある。 ・日中、数回訪問するが不在で、手紙をポストへ投函するが連絡が無い場合があり、訪問を敬遠されるケースもある。また、母子推進員が母親に民生委員が同伴するというと断られることもあり、正しく認識してもらうことが重要である。</p>
12	山口市	小鯖	○	○				<p>子育ての楽しい地域づくりを目指してサロン運営を継続実施と、地域諸団体との研修をしている。本年度は、子どもの家設立のために6月と7月に提案会議をして子育てに関係する各団体による、調査をお願いし、年度末に集約の予定であったが、コロナ感染拡大防止のため、年度末の会議が開けず、尻切れトンボになっている。次年度6月の定例会議から仕切り直しとなる。現行の子育てサロンは毎週木曜日(本年度は41回実施)小鯖地域交流センターにて実施。毎回2名のボランティアと平均4組の未就園児親子が参加。 11月16日に在宅高齢者向け全対応型サロン「まるっとおさばカフェ」を立ち上げた。地域づくり協議会と協働でおさば里の駅の1部分にて開始。平日午後2時から4時までの2時間。市から認知症カフェの認定を貰い、いろんな角度から誰もが気軽に集まれる場所づくりをしている。現状では2名のボランティアと、1日5～10名の参加者でコーヒータイムを楽しむのがベースで、ミニコンサートや心配事相談・勉強会をそれぞれ月1回ペースで実施している。今期退職の委員にも協力をしてもらうために、民児協の名前の入らないそろいのジャンパーを調達し利用してもらっている。毎朝の立哨やサロンのボランティアに欠かせない人材として、OBにも活動参加してもらっている。</p>	<p>子育てサロンは既に10年以上続いており地域に無くてはならない場所になっていると思う。今何を言うより、私達がいつもここにいるよを、伝え続けていくことが必要だと感じている。当地区では、女性民生委員が少なく、負担は大きいですが、他団体の協力で何とか続けている。 高齢者サロンは、こんなところを待っていたとの声を多数いただき、今後の運営が楽しい事業です。</p>

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進	資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員活動	地区民児協同士の交流事業の実施	新規事業実施の促進		
13	山口市	平川	○	○				<p>令和元年度創作とチャレンジ教室事業報告書</p> <p>学校週休2日制度が始まったのを機にスタートし、昨年度18年目を迎えた地域の子育ての支えになることを目的とした取組みの一つ。平川地区民生委員児童委員協議会主催、他に地区社会福祉協議会、平川コミュニティ協議会の協力をいただきながら、企画、実行を主任児童委員が主に行う。</p> <p>昨年度の参加児童は41名。年間を通じて同じメンバーで活動。当日はスムーズな進行が行えるよう、民生委員で事前研修を行い、実際に体験するなど、子ども達に寄り添えるよう工夫。また、登録いただいているボランティアの皆さんや山大的サークルの学生さんにもその都度協力依頼。</p> <p>※なお、12月の寄せ植え&閉校式は小学校でインフルエンザ流行による学校閉鎖の措置がとられたため、蔓延防止のため活動を中止。全員にメール配信し当日花と修了証を取りに来てもらうことにした。</p>	<p>【成果】</p> <p>子ども達は、一年間同じグループで活動し、高学年をリーダーとして低学年をまとめ、また、大学生、民生委員も加わることで、地域の方の見守られながら楽しく活動をしていくことができた。</p> <p>また、安全対策として、</p> <p>①参加時は保護者が建物内まで付き添って来ること。</p> <p>②終了時は、「車で迎え」「自転車帰る」「徒歩帰る」子ども達それぞれグループ分けし、迎え以外の子どもについては駐車場を出る所まで民生委員が付き添うなど、できる限りの対策を行った。</p> <p>【課題】</p> <p>活動中の怪我をした子の対応について、勉強不足の部分があったので、今後研修を行い、危機管理体制を強化していく。</p> <p>つりは、天候に左右されるので、昨年は延期による延期で道具の準備をお願いしていた方に迷惑をかけてしまった。ただ、子ども達の要望の多い活動なので、安易に除外できないのが悩ましいところ。</p>	
14	山口市	秋穂二島	○					<p>独居老人交歓昼食会(春季、秋季の年2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年5月23日(木)10時～15時 令和元年11月28日(木)10時～15時 参加者延べ17名(スタッフ延べ44名) 交流センター調理室で地域食材使用の昼食作り及び地域の皆さんの余興、会食懇談会 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージでの余興は、顔なじみの方々の出演で大いに盛り上がった。(個人やコミュニティクラブメンバーによる出し物) ・ボランティア団体「あさひの会」のメンバーや食推さんの協力があり、スタッフのつながりを深めた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・したいけど「一人ではどうも・・・」という方や「送り迎えがあれば」というような声があった。 ・参加者がやや少ない。(特に男性) 	

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 （児童育成）	資質向上に向けた研修の実施 （民生委員・児童委員）	民生委員・児童委員活動に関する調査	地区民児協同士の交流事業の実施	新規事業実施の促進		
15	山口市	阿知須	○					<p>【事業内容】</p> <p>ア 災害発生時に援助を必要とする要援護者の把握、関係機関との協働による災害時のニーズ把握や安否確認・支援体制づくりの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区担当の自治会が組織した自主防災組織に協力する。 ・一人暮らし、二人暮らし、寝たきり高齢者の実態調査(5月) ・福祉マップの作成(災害時などの緊急事態に、誰が誰を担当する等) ・民生委員同士の緊急連絡網の作成及び情報伝達の実践(6月) ・地区社協や地域づくり協議会との連携強化 <p>イ 地域包括支援センター、地域のケアマネージャーとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別ケース検討の実践(7月中旬) ・ケアマネージャーさんとの情報交流会の実践(8月上旬) 	<p>【成果】</p> <p>ア 災害発生時に援助を必要とする要援護者の把握、関係機関との協働に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当地域の自治会の自主防災組織に積極的に参加した。 ・5月1日の65歳以上の一人暮らし、二人暮らし、寝たきり高齢者の実態調査 ・災害時などの緊急で誰が誰を担当する等の助け合いマップの作成 ・緊急連絡網の実践及び活用を図る。 ・地区社協や地域づくり協議会との連携を行った。 <p>イ 地域包括支援センター、地域のケアマネージャーとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別情報交換会の開催(7月中旬) ・ケアマネージャーさんとの地域ケア会議(8月9日開催) <p>【課題】</p> <p>任期最後の充実した活動が行われたが、19名の民生委員中16名が入れ替わるといった事態が起きた。新任民生委員さんもこれまでの活動が途切れることなく続けてほしい。</p>	
16	萩市	むつみ	○					<ul style="list-style-type: none"> ・6月18日 ハザードマップから地域を知ろう研修会(15名参加) ・7月23日 研修視察「もしもの災害に備えよう」岩国市防災学習館 防災シアター、地震体験、煙避難体験、消火器体験等 自分の命は自分で守る、災害発生の前に避難する。「何もなくて良かった」と思えるように。(15名参加) ・9月18日 大雨に伴う土砂災害被害状況について(12名参加) 8月29日土砂災害に関する警戒レベル4(避難勧告)の対応 ・10月29日 暴風雨被害の状況及び対応(13名参加) ・11月17日 住民福祉講座「みんなで防災」の聴講(8名参加) ・2月22日 生活バス運行に関する説明会参加(5名参加) 	<p>ハザードマップの見方から地域を知り、災害はいつどこで発生するか分からないこと、「何もなくて良かった」と思える災害発生前の避難行動の勧め等の研修直後、土砂災害に関する警戒レベル4の発令と暴風雨被害が発生。避難行動や避難所等における行動の再確認及び反省につながった。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止も含め、経験したことのない災害の可能性のあること、避難場所、日常の心構え、住民を取り巻く生活バス等、随時情報を伝えていきたい。また、災害発生前の安全確保時点の委員の活動について再度確認していきたい。</p>	
17	萩市	川南	○					<p>民生委員活動の推進・啓発のためベスト・腕章を作成。着用し、交通立哨等を行った。</p>	<p>川南地区民生員児童委員協議会オリジナルベスト・腕章を着用することにより活動のPRを行うことができた。</p>	
18	萩市	山田	○	○				<ol style="list-style-type: none"> ①各サロンへの支援、助成(サロン活動へ福祉指導員を派遣した) ②定例会で小学校との連携により通学路の安全確認や見守り体制の充実。また、見守り隊のハッピー作成。 ③地域消防団との地域見守りによる危険箇所のマップ作り 	<p>小学校との連携により、通学路の安全確認や見守り体制が充実した。</p>	

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進	資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員の活動	民生委員・児童委員の調査	地区民児協同士の交流事業の実施		
19	防府市	勝間	○	○	○				<p>①市民児協主催の3部会への積極的参加 ②県社協開催の各種研修会への積極的参加 ③中堅・新任の民生委員児童委員に係る研修会への積極的参加 ④月例会で疑問を持つ事案について外部講師を招聘し研修会を開催 ⑤民生委員、福祉員、友愛訪問員、自治会福祉部長、社協役員等福祉に係わる者で合同研修会の開催。</p>	<p>【成果】 複雑化する福祉関係の法律等、市・包括センター等専門的知識を持った職員に定期的に研修を受けることにより適切な対応ができるようになった。 【課題】 委員間の情報の共有化をより密にする。</p>
20	防府市	華城			○			<p>民生委員児童委員、福祉員、友愛訪問員が初めて合同で「小地域における福祉活動」について視察研修を行いました。 佐賀県武雄市では、サロン活動を重視しており、同市社協もサロン立ち上げに力を入れ、その中で朝日地区社協の2サロンの活動紹介があり、実施回数は月1～2回で内容は、地域の特性を生かしており、参加者の負担にならないよう配慮されたものでした。</p>	<p>福祉関係者同士の意見交換及び交流ができ、今後華城における福祉員、友愛訪問員との福祉活動の連携やサロン活動の実施等、よりきめ細かい活動ができる。</p>	
21	防府市	向島	○	○			○	<p>①一人暮らしの高齢者・日常生活に支援が必要な方などの見守りについて毎月の定例会で南包括支援センター職員の方と情報交換を行う。毎月第2火曜日 ②民生委員、福祉員、友愛訪問員の合同研修会開催。11月22日60名程度 ③児童の見守り地域住民の繋がりを目的として、フードバンク・子ども食堂の利用・活用協議 ④小学校を中心に校区内の子どもに関する行事に積極的に参加。</p>	<p>○合同研修会を通じて、各地区の福祉員・友愛訪問員と民生委員で課題を共有し、支援活動の方向性・対策等を協議して福祉活動の意識を向上することができた。 ○小学校・中学校の運営協議会に出席することや、子どもを中心とした行事にも積極的に参加して児童問題も意識していく。 ○少子高齢化に伴う問題の対策を検討していくことの必要性を感じた。その一環としてフードバンクを利用した、子どもと地域をつなげる事業の必要性を検討。</p>	
22	下松市	末武	○		○		○	<p>災害時に一人も見逃さないために要支援者住居マップ作りを5回実施 ・9月17日 花岡地区民児協と合同研修会を行った。 ・10月10日 末武中学校の1年生と「くだまつふるさと学習」の研修会</p>	<p>【成果】 他地区の民児協の皆さんと意見交換・親睦が図れて良かった。末武中学校の生徒さんにも民生委員という仕事が理解されたと思う。 【課題】 マップ作りは大変だったけれど良かった。これを今後どう活用するかだ</p>	

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修の実施 民生委員・児童委員の	動の推進に 民生委員・児童委員 活動	地区民児協同士の 交流事業の実施	新規事業実施の促進		
23	岩国市	愛宕			○			<p>1 10月28日(月)福祉員と合同で、広島市安佐北区のリアライブ高陽の施設見学。この施設は、特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、デイサービス等を運営。中でもデイサービスは主に要支援者を対象としており、あらゆる活動の中に、それぞれ個性や嗜好に合わせたゲームを選択するようになっている。また、昼食はバイキング形式で、新たな視点で運営をしている。34名の参加。</p> <p>2 11月21日(木)、22日(金)地区民児協研修旅行。バスの中で「きずな町物語」高齢者の交通事故、詐欺被害防止のビデオを見て意見交換の時間を取った。また、各人の活動等意見交換の場を設けるなど資質の向上と共に委員相互のコミュニケーションアップを図ることができた。(18名の参加)</p>	<p>【成果】 地域活動において、福祉員との交流や意見交換の場を設けることは大切な事であるので、できるだけ毎年実施できるよう努めたい。また、委員同士の資質の向上の一助になっている。</p> <p>【課題】 福祉員と効果的な交流の場を設けること。委員が全員参加できればより効果的なものになる。</p>	
24	岩国市	川下			○			<p>1 日時 令和元年10月12日(土)</p> <p>2 場所 川下防災備蓄センター</p> <p>3 参加者 35名(内、講師 浴中裕子氏、村未正典氏)外 民生委員18名、福祉員13名</p> <p>4 内容 「住みなれた地域で、できる限り自分らしく最期まで暮らす」民生委員と福祉員との違いと係わり方、お互いの連携の大切さ見守り等お互いの情報交換</p>	<p>【成果】 令和2年度は新しい民生委員さんも多く、福祉員さんとの顔合わせになり大変良かったと思います。それぞれの役割も大切にしながら一人暮らしの高齢者の方の安否確認、委員の皆様も高齢になり不安も出され良いきっかけになったと思います。自分達にできることをしようと思います。知らないことも多くあり、研修はこれからも機会があればできると良い。</p> <p>【課題】 介護保険等は、見直しが常にあり、民生委員も自分の知り得ることがわずか。 民生委員全員が研修、それも地元で。これからも、堅苦しくなく地域を巻き込んだ活動にしていけたら良いかなと思います。</p>	
25	岩国市	装港	○		○		○	<p>1 地域福祉活動の推進 2地域(新港、装東)において「いきいきサロン」を開催</p> <p>2 民生委員・児童委員の資質向上に向けた研修の実施 令和元年11月21日に視察研修を実施。視察先は、広島県庄原市の備北ななつか病院。参加者数は7名。</p> <p>3 地区民児協同士の交流事業の実施 令和元年7月11日、装港供用会館において、東、小瀬、装港の合同地区民児協会議を開催。参加者数は35名。</p>	<p>【成果】【課題】 ・「いきいきサロン」を通じて、地域の高齢者同士や委員が顔見知りになることで、社会的孤立や認知症の予防、非常時の支援活動等に資することが期待できる。参加者が固定化する傾向があるので、引き続きより多くの高齢者の参加を促したい。 ・委員が協同で各事業を実施することにより、委員間の連携を深めることができた。</p>	

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修の実施 民生委員・児童委員の	民生委員・児童委員活動に関する調査	地区民児協同士の交流事業の実施	新規事業実施の促進		
26	岩国市	灘	○	○	○	○	○	○	<p>1 資質向上のため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/10田布施総合支援学校へ福祉員と合同で施設見学をする。(福祉員18名、民児協27名)障がい者の生活の様子や療育訓練等を見学し、その大変さを実感し忍耐強く指導している姿に感心した。 ・10/9広島芸備線の「老健ふかわ・くにくさ」を民児協で研修(27名)高齢者に対する食事がいいとの事で試食させてもらったが、見た目がきれいいで食べると柔らかくて、非常に感動した。(真空低温調理法)入居者のためという事が全員に身についた。 <p>2 普及啓発のため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校との連携活動 灘中、灘小、中洋小との三校連絡協議会を毎年8月に実施している。 小学校で竹細工教室、X'mas飾り教室、草刈り等環境整備、海岸清掃、昔遊び、交通安全立哨等 ・その他 5地区合同研修会、一人暮らしの集い、未就学児を対象に子育てサロン「灘えくぼ」を福祉員や母子推進員などの協力を得て開催している。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 思っていたことはできたと思う <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三校連絡協議会にPTAの方の参加をもっとお願いしたいと思う。
27	光市	第2地区	○	○	○				<p>1 視察研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 11/8-9岡山から島根への1泊研修を実施。参加者17名、平成30年7月西日本豪雨災害から復旧現場の視察、防災に関わる研修を実施した。 <p>2 慰問研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 8/4参加者7名、近隣施設に慰問し、介護高齢者との交流を実施した。 <p>3 母子保健推進員との共同事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 7/5参加者17名、子育て中の親子と七夕会を実施した。終了後、母子保健推進員との連携を図るために問題点を共有した。 <p>4 小中学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 月2回、参加者19名交代制で朝のあいさつ運動や児童見守り参観を行った。教師と共に児童を見守り、環境や生活など問題点を共有した。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会を通じて問題点を共有し、士気高揚・資質の向上を図ることができた。 ・地域とのネットワークを構築するため、共同事業を行い共通点を確認した。 ・児童との関わりを一步踏み込んだ形で先生と共有し、問題点を把握した。 ・新しく中学校との関わりができ、先生や児童と信頼関係を築くことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年開催する研修会で、施設や講師など内容がマンネリ化してきた。 ・地域とのネットワークを構築するため、発信していく努力が必要となる。 ・小中学校の人事異動で、校長や担任の先生が変わっても継続努力が必要である。

建成順	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化						
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 （児童育成）	資質向上に向けた研修の実施 （民生委員・児童委員）	民生委員・児童委員活動に関する調査	地区民児協同士の交流事業の実施		
28	長門市	油谷			○		○	<p>宇部市厚南地区の住民（高齢者、障がい者、児童）に対する研修視察を実施したことで、地域ニーズを的確に把握するとともに、より活動的な知識・支援を効果的に運営、展開するための技法を学び得たので民生委員・児童委員（主任児童委員を含む）の資質向上を図ることができた。</p> <p>令和元年7月23日 宇部市厚南地区民生委員児童委員協議会 先進地視察研修 参加者21名</p>	<p>【成果】 宇部市厚南地区民生委員・児童委員協議会の事業活動は、県内でも優れていた。その中でも福祉のまちづくりは、見守り活動関係者と交流研修を実施し、各地域の実情を把握されていた。それを元にして、災害ハザードマップ等が作成され、更に個人情報にも注意されていたことに感服した。</p> <p>この研修会を通じて、民生委員・児童委員の個々の活動が複雑多様化する中、如何に効率よく活動していくことが望ましいかを学ぶことができた。</p> <p>また、今後の民生委員・児童委員活動に対する知識の習得方法や役割の見識を高めつつ、委員個々の資質向上を図ることができた。</p> <p>【課題】 上記の福祉のまちづくりは有意義に学ぶことができた。一方で、児童福祉に関する見守り活動等が本市ではできていないと感じた。今後地区民児協の中で、児童に対する活動や取組みを示すことが課題である。</p>
29	柳井市	柳井			○			<p>【目的】 防災を紙面、机上、パンフレット等による講義ではなく、実際の映像、体験を感じるため。</p> <p>【内容等】 山口県大島防災センターへの視察研修</p> <p>【実施日】 令和2年2月21日</p> <p>【参加者】 24名</p>	<p>【成果】 地震のメカニズム、津波の発生、速さ、高さを映像と模型で目と肌で感じる事ができた。自助・共助の認識の大切さ、防災グッズの必需品、今何を行うか、何が足りないか、自ら身を守る対策方法の発見ができた。</p>
30	柳井市	伊保庄	○					<p>【目的】 民生委員・児童委員個々の防災に対する更なる自覚・向上を促し、地域住民への啓発に努める。</p> <p>【内容】 災害は起こり得ることと捉え、緊急時に必要不可欠な物品を改めて精査、確認した。</p>	<p>【成果】 必要不可欠と判断した物品を購入し、委員各自に配布することによって、非常時持出袋として予め準備しておくことができた。</p>

建成順	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化						
			地域福祉活動の推進	子育て・児童育成・支援活動の推進	民生委員・児童委員の資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員活動に関する調査	地区民児協同士の交流事業の実施		
31	美祢市	秋芳	○					<p>・過去の水害、土砂災害を参考に、ひとり暮らしで体の不自由な人を、区長、福祉員、近隣者及び民生委員等で見守りチームを編成する。(定例会で周知)</p> <p>(1)近隣・親族(県外等)と連携を取っておく。</p> <p>(2)避難場所(指定公民館、高台の親戚、自宅の2階等)を決めておく</p> <p>(3)「警戒レベル2」時点で体制(チーム)を整える。</p> <p>(4)6月実施の福祉員・民生委員合同研修で周知する(この事業は永年の体制)</p>	<p>(1)ひとり暮らしの高齢者は、他人(親戚以外)に迷惑をかけるとの意識が強い。</p> <p>(2)「要援護者マップ」を避難指定場所へ配備したいが、「転入・転出や施設入所、死亡等」現状変更がスムーズに行えるかが課題。</p>
32	美祢市	大嶺	○					<p>①児童の登下校について</p> <p>②地域パトロールについて</p> <p>③ふれあい三世代(保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、地域の人)について</p> <p>④学校運営への協力について</p> <p>⑤火災防止に対する認識について</p> <p>⑥地区の避難所講座への参加について</p>	<p>①児童の登下校について信号機のある横断歩道での立哨と、信号のない横断歩道での交通指導を行い安全を確保している。これにより、児童からの信頼を得ている。</p> <p>②地域パトロールとして登下校時に一緒に歩いて、見守り運動を行い犯罪防止に貢献し賛同を得ている。</p> <p>③ふれあい三世代(保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、地域の人)の成果発表で各分野での取組を理解し、各世代毎に連携をはかることができている。結果として、各世代毎の考え方を共有することができるようになった。</p> <p>④毎月1回、小学校で地域の人との集まりを行い、学校の運営について意見交換を行い、地域と共に活動ができる学校作りに貢献している。</p> <p>⑤消防署が行う、高齢者宅と一緒に訪問し火災要因について、点検を行い火災防止の指導をした。これにより、火災防止に対する認識に一定の成果があった。</p> <p>⑥大嶺地区の避難所講座に参加し内容を理解した上で高齢者宅を訪問した。この内容を指導したことで、避難方法をよく理解して頂いた。</p>

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修の実施 民生委員・児童委員の	動の推進に関する調査 民生委員・児童委員活動	地区民児協同士の交流事業の実施	新規事業実施の促進		
33	周南市	秋月			○			<p>実施日時: 令和元年8月31日(土)13:00~15:00 参加人数: 12名 訪問先: 「こども家庭支援センターあまぎやま」 住所: 福岡県大牟田市甘木1147 実施内容: 専門担当者による現状説明・施設視察・質疑応答</p>	<p>【成果】 施設に入所してくる子どもたちの様々な状況・環境をご教示いただき、我々がどのように活動していくか、どう対応していくかを考える機会をいただいた。 地域に戻って活動する際、参考にできる大変良い研修であった。 【課題】 ケースケースでどこまで対応できるか、どこまで入り込めるかよく考慮しながら対応していかなければならず、非常に難しい問題であると理解できた。 我々としては、関係機関との連携を忘れず取りながら対応していくようにしたい。</p>	
34	周南市	久米		○	○			<p>(1) 昔ながらのもち米作り体験 久米地区コミュニティ推進連絡協議会との共催で、小学5年生の「昔ながらのもち米作り体験」として、小学校近くの学習田でもち米作りを体験してもらい、農業の大変さやお米の大切さを伝えていきながらコミュニケーションを図る。 (2) 防災研修 令和元年8月24日 子ども防災教室開催(8名) 定例会で研修内容の報告、不参加委員への情報提供(17名) 要支援者への災害時支援方法の検討 子ども防災教室を開催し、地域の子ども達へ解り易いかたちで防災に関する情報提供ができるようにする。</p>	<p>(1) 農業の大変さやお米の大切さを教えることができた。また、ともに汗を流して労働することで、小学生、先生と世代をこえたコミュニケーションをとることができた。 活動を通じて、児童の集中力が素晴らしいと感じたが、持続性は無いように思う。今後はもっと興味を持って貰えるよう内容を工夫して行きたい。 (2) 久米地区自主防災の方を講師に、こども防災教室を開催した。クイズを取り入れたとても分かり易い内容だったので、子ども達も勉強になったと思う。座学の後、実際の訓練として水消火器の体験をしてみると、なかなか思い通りに的に当たらないこともあり、日頃から練習しておくことの大切さを感じた。また、アルファ米や缶詰などの防災食を試食し、必要な備蓄品についても学べた。数年前から防災施設の見学や実習・救命講習などを行っているが、次々に新しい情報が出てくるので、もっと定期的に研修を行い、常に最新の正しい情報を地域住民に提供できるようにしたいと感じた。</p>	
35	周南市	戸田	○					<p>【事業内容】 今年度、民生委員、主任児童委員の改選時期で新任者が多く、地域福祉活動の基本とも言える、寝たきりやひとり暮らしのお年寄りの見守り活動とは？をテーマに掲げ、福祉員を加えた研修会とした。研修に当たっては、市地域福祉課から講師を派遣いただきました。 開催時期: 令和2年2月14日(金) 参加者: 民生委員、主任児童委員(9名)福祉員(22名) 計31名</p>	<p>【成果】 新任委員には新任としての研修、再任委員にとっては活動の振り返りに役立ったと思います。 【課題】 地区の新たな課題や問題を適切な時期に、委員相互、地区諸団体と連携した研修を実施する必要があると思われます。</p>	

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進	資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員の活動	民生委員・児童委員の調査	地区民児協同士の交流事業の実施		
36	周南市	中須	○		○			○	<p>①オリジナルネーム入りジャンパーを作成・購入 ユニフォーム(8名分)</p> <p>②防災研修の開催及び防災グッズの配布 11/16(火) 防災研修会(20名参加)岩国市防災学習館 1/31(火) 防災ラジオ…希望する全世帯(246台)</p> <p>③福祉員及び地区社協との連携強化 4/16(火) 合同研修会「クイズで学ぶ消費者力」(46名参加) 6/27(木) 合同研修会「熱中症の予防と対策」(20名参加)</p>	<p>【成果】 福祉員や地区社協と連携を強化して、合同で研修会を開催するなどして効率的な活動を進めることができた。また、今年度は防災に特化した研修会や防災ラジオの配布(自主防災組織と連携)することで地域住民の防災意識の向上に努めた。</p> <p>【課題】 高齢化による対象者等の増加や過疎化に伴う担い手不足が進む状況下において当組織は重要であるが、将来において活動を継続する上で、厳しい状況に変化はない。</p>
37	周南市	福川	○	○	○	○	○	<p>①平成31年4月11日(火)9:00～16:00 児童養護施設「山口愛児園」の訪問研修 参加者(20名) 小さい子から18歳までの約80名の子ども達が生活しており、管理されている先生方の御苦勞をお聞きし、園内を見学した。</p> <p>②令和元年6月11日(火)13:00～19:00 福川中学校の先生方との懇親会 参加者(19名) 生徒の指導方法、学校環境の問題点を議論した。</p> <p>③令和元年10月8日(火)13:00～15:00 他地区民児協との交流会「秋月地区民児協」 参加者(17名) 秋月地区民児協の活動を聞かせていただき、参考とさせてもらった。</p>	<p>【成果】 ①児童養護施設での視察は、民生委員・児童委員として何をすべきか考えさせられる体験であった。具体的には施設の運営で特に男女が共同で生活することなど難しいところがあった。 ②福川中学校の先生方との懇親会は毎年開催であるが、一部の生徒の問題や構築物の老朽化の問題が提議された。できるだけ力になれるよう努力する。 ③秋月地区との交流会はそれぞれが抱える地域性による問題点を議論でき有意義な一日であった。 ④その他として、こども園見学、サポート協議会によるパトロール等地域の関係行事に参加し見守り活動の充実化が図られたことが成果の一つである。</p>	
38	山陽小野田市	山陽			○				<p>令和元年10月25日(金)山陽小野田市山陽地区民児協の民生児童委員38名が大型バスで周防大島町にある「指定障害者支援施設たちばな園」を訪問し、施設概要の聞き取り及び施設内の視察による研修を行った。</p>	<p>【成果】 ・施設を直接訪問することによって委員ひとりひとりの見聞が広がり今後の民生委員・児童委員活動に活かすことができる。 ・行き帰りの道のりにおいて委員相互が交流を深める事によって、今後の民生児童委員活動の円滑な推進を図ることができる。</p>

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修の実施 民生委員・児童委員の	動の推進に 民生委員・児童委員活動	地区民児協同士の交流事業の実施	新規事業実施の促進		
39	平生町	平生町			○	○		<p>○地区内の全民生委員・児童委員を対象とした研修の実施(年5回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/24 生活保護の動向(東部社福)・社協より・警察署より ・6/25 各部会(地域福祉、児童福祉、企画組織)の活動計画・年金機構より ・8/29 高齢者のメンタルヘルス～フレイルを防ぐために～ ・10/31 中学校訪問 学校・家庭・地域の連携協働の仕組みづくり ・12/2 民生委員・児童委員一斉改選 新旧委員情報・意見交換懇親会 <p>○調査活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者実態調査(5月上旬～6月上旬) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修にあたり、様々な機関・団体から専門職の講師を派遣いただき委員の資質向上が図れた。 学校訪問をして子どもの様子を垣間見たり、高齢者の実態調査で家庭訪問活動を実施し、地域内のニーズ、福祉問題の掘り起こしができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により、予定していた他市町の視察研修ができなかった。 	